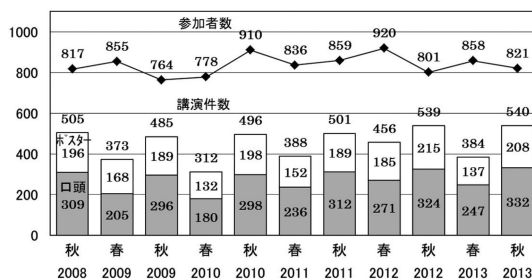


2013年度秋季大会の報告

2013年度秋季大会は、仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山）を会場として2013年11月19日（火）～21日（木）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は821名であった（第1図）。

2日目午後には、仙台国際センター大ホールにおいて山本・正野論文賞が山崎 哲氏と茂木信宏氏に、堀内賞が野中正見氏と横田達也氏に、奨励賞が中村一樹氏にそれぞれ授与された。授賞式に続いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「二酸化炭素研究の新展開」が開催され、5件の基調講演と総合討論が行われた。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する7件のスペシャル・セッションが行われた。講演件数は、一般講演が439件（内訳はポスターが208件、口頭発表が231件、口頭発表1件当たりの持ち時間は8分）、スペシャル・セッションが101件、合計540件で、これは過去最多の講演件数であった。



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる4件の研究会が開かれた。

最後に、今大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた仙台管区気象台、東北大学大学院理学研究科、(一財)日本気象協会東北支局をはじめとする東北支部の皆様深く感謝の意を表します。

2013年12月 講演企画委員会